

「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討状況について

1 要旨・目的

全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・派遣する機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討を進めてきた。

広島県地域保健対策協議会 保健医療基本問題検討委員会でとりまとめられた「高度医療・人材育成拠点ビジョン」を実現するため、4月28日に開催した「高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議」について報告する。

2 現状・背景

本県においては、医師や診療科の偏在、高度医療機器の分散、都市部における医療機能の重複などに課題がある。とりわけ、高度な医療資源が集中する広島都市圏において、医療資源を集約化することにより、県内全域を対象に高い水準の医療を提供するとともに、中山間地域の地域医療を維持する必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県民，医療関係者等

(2) 実施内容

新病院の整備を進めるとともに、医療機能の分化・連携の深化を図るため、関係医療機関等が参画する「高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議」を開催し、「高度医療・人材育成拠点」に必要な医療機能等について検討を行った。

ア 議題及び内容

項 目	内 容
拠点ビジョン推進会議の検討事項及び検討体制	<ul style="list-style-type: none"> ○開催趣旨，スケジュール，検討体制等について説明 ○拠点ビジョン推進会議における主な検討事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療機能の分化・連携の推進（役割分担と連携の仕組みなど） (2) 患者紹介・逆紹介の推進 (3) 医療人材の育成・交流（研修体制の強化，キャリア支援の仕組みなど） (4) 連携体制のあり方検討 (5) 拠点ビジョンの実現に向けた基本構想等の検討 ○分野別に専門的な内容を検討するため，推進会議の下に次の分科会を設置 <ul style="list-style-type: none"> (1) 救急 (2) 小児 (3) 周産期 (4) がん (5) 脳・心疾患 (6) 精神 (7) 感染症 (8) 災害 (9) DX (10) 地域医療 ○必要に応じて，広島都市圏病院長会議を設置し，各病院長の意見を伺う

分科会における協議事項及び構成員	<p>○分科会における主な協議事項</p> <p>(1) 将来的な医療需要や医師数等を踏まえ、機能分化・連携の深化を検討する病院間でどのように役割分担・連携を図るべきか。</p> <p>(2) 新病院に備えるべき具体的な医療機能はどのようなものか。</p> <p>(3) 地域完結型医療への転換に向けて、かかりつけ医、急性期病院、回復期病院間の役割分担の明確化を図り、患者の紹介・逆紹介をさらに進めるため、病院間でどのような連携体制をとるべきか。</p> <p>(4) 新病院で育成した医師を地域へ派遣できる仕組みを構築するためキャリア支援センターにどのような機能をもたせるべきか。</p> <p>○分科会の構成員については、関係する医療機関等と協議の上、決定</p>
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

イ 会議構成員（団体）

広島大学，広島市立病院機構，日本赤十字社，国家公務員共済組合連合会，医療法人 J R 広島病院，マツダ株式会社，中国電力株式会社，広島県病院協会，広島県医師会，広島市医師会，広島県地域保健医療推進機構，広島市，広島県

※連携の趣旨に賛同する他の医療機関の参画を促す。

ウ 会議における主な意見

区分	主な意見
医療機能の分化・連携	<p>○急性期医療だけでなく、その後の回復期や慢性期との連携も含めた横断的な機能分担・役割分担を検討する必要がある。</p> <p>○広島都市圏におけるより良い医療提供体制の構築に向けて、どのような役割を担うべきか検討する必要がある。</p>
新病院に必要な高度医療機能	<p>○2次救急を担う民間病院のバックアップ体制としての3次救急あるいは専門医による受入体制を構築する必要がある。</p>
新病院に必要な人材育成・派遣機能	<p>○県内高校から他県の大学医学部に進学した医学生が広島に戻ってきてもらうための取組についても検討する必要がある。</p> <p>○へき地への人材派遣については、日常的な診療を行う内科医、救急医、専門医などのニーズを踏まえて検討する必要がある。</p> <p>○人材育成については広島大学医学部、大学病院が総力を挙げて一緒に取り組んでいく必要がある。</p>
総合診療医の確保	<p>○初期救急患者の受入などにおいて、総合診療医の役割が重要になってきていることから、総合診療医の育成にも力を入れる必要がある。</p>
医師の働き方改革への対応	<p>○若手医師は生活と両立した働き方を重視する人が多いことから、柔軟な働き方への配慮が必要である。</p>
地域住民への対応	<p>○地域住民の不安を解消するため、丁寧に情報提供を行う必要がある。</p>

(3) スケジュール

時期	内容
6月末頃	<p>➤第2回拠点ビジョン推進会議</p> <p>・分野別分科会の検討状況に関する報告及び方向性協議</p>
8月末頃	<p>➤第3回拠点ビジョン推進会議</p> <p>・各病院の役割分担・連携の仕組みに関する協議，基本構想のとりまとめ</p>

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
拠点ビジョン 推進会議		●		●		●	
		高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議において各病院の役割分担等を協議					
分野別分科会		●	●	●	●		
		分野別分科会（10分科会）において各病院の役割分担を協議					

- (4) 令和4年度当初予算
93,747千円（一部国庫）

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議 委員名簿

氏名	所属	備考
工藤 美樹	広島大学病院 病院長	
栗井 和夫	広島大学医学部 医学部長 公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構 地域医療支援センター長	
影本 正之	地方独立行政法人広島市立病院機構 副理事長	第1回欠席
渡部 洋一	日本赤十字社 医療事業推進本部長	
三井 英夫	国家公務員共済組合連合会 病院部 部長	
河本 昌志	医療法人 JR 広島病院 理事長	
外林 浩子	中国電力株式会社 執行役員 経営企画部門 グループ経営推進部長	
吉田 和久	マツダ株式会社 執行役員 グローバル人事・安全・病院担当	(代理出席) 地下豊 病院事務長
檜谷 義美	一般社団法人広島県病院協会 会長	
松村 誠	一般社団法人広島県医師会 会長	会長
佐々木 博	一般社団法人広島市医師会 会長	第1回欠席
岩崎 学	広島市健康福祉局 保健医療担当局長	
浅原 利正	広島県 参与	
平川 勝洋	広島県 病院事業管理者	
木下 栄作	広島県健康福祉局 局長	
福永 裕文	広島県健康福祉局 総括官 (医療機能強化)	
米田 一裕	広島県健康福祉局 総括官 (医療介護)	

(順不同・敬称略)